

科目名 Course Name	生理学 Physiology				ナンバリング No.	L2-001	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	本庄 広大						
連絡先(質問等)	非常勤講師室						
必修/選択	選択(栄養士は必修)						
関連 DP	DP1 DP2						
授業の概要と 到達目標	<p>前期で学習した各細胞、組織、器官の復習をしながら働きを重点に覚える。 人間が呼吸、摂食、睡眠、労働、休養、生殖などを営んで種族を維持していく仕組みを学習し、各器官が互いに協力して機能しながら体を維持していくことを理解する。 一部の組織、器官の協働体制に不具合が起きることで病気になる理由を学習する。</p> <p>① 人体を構成する細胞、組織、器官などの働き、食品や栄養素との関連を認識することができるようにする。 ② 地上の環境で種族を維持するための感染防御、呼吸、吸収と排泄、生殖などの機構を分類することができるようにする。 各器官系が中枢神経系によって統合されて個体が維持されていることの仕組みを認識することができるようにする。</p>						
授業の方法	主に Power Pointを用いた講義形式。適宜、補助資料に書き込みをしながらグループディスカッションをして理解を深める。						
学習成果	L01						
	L02	<p>① 養士資格を取得するうえで必要となる「生理学」に係る内容を具体的に解説することができる。 ② 体を構成する細胞、組織、器官などの名称や機能を正確に解説することができる。 感染防御、呼吸、吸収と排泄、生殖などの機構や各器官の機能について解説することができる。</p>					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	講義の途中に問題を出題。模範解答を示して理解を深める。						
教科書/ 参考図書	<p>教科書 【Visual 栄養学テキスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち I 解剖生理学】 福島光夫 中山書店 補助資料【ぬりえで学ぶヒトのからだ】 佐藤達夫 安田康晴 パーソン書房</p>						
履修上の留意点 やルール等	授業では触れなかった疑問を自分で調べ、不明な箇所は担当教官に質問すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	職種:医師 職歴:通算 19 年 (医師の立場から人体を構成する細胞、組織、器官などの働き、食品や栄養素との関連を説明する。)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義の目的と内容をしっかり理解し積極的に参加している。		20		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	全出題項目が理解できている。		80		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	細胞の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
2	授業内容	血液成分の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
3	授業内容	免疫系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
4	授業内容	運動器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
5	授業内容	循環器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
6	授業内容	呼吸器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
7	授業内容	消化器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
8	授業内容	腎泌尿器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
9	授業内容	生殖器系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
10	授業内容	神経系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
11	授業内容	内分泌系の働きについて学習する。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
12	授業内容	第 1 回目から 11 回目のまとめ。試験に向けた補足説明。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
13	授業内容	第 1 回目から 11 回目のまとめ。試験に向けた補足説明。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
14	授業内容	第 1 回目から 11 回目のまとめ。試験に向けた補足説明。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。
15	授業内容	第 1 回目から 11 回目のまとめ。試験に向けた補足説明。
	事前・事後学習	教科書を読み、補助資料に書き込む。